

National Philharmonic Society of UKRAINE KIEV

Mycola Diadiura, Conductor

平和への切なる祈りを込めて謳い上げる2つの第九!

2005年の初来日以来毎回絶賛を博し、「スラブ最高のオーケストラ」と評価を確立したウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団。肥沃なる大地ウクライナはオイストラフ、ハイフェッツ、コーガン、ミルシテイン、ホロヴィッツ、リヒテル等近代音楽史上の巨匠を生み出してきた音楽史上の要衝です。巨匠の流れを汲む音楽家が奏でる調べはどこまでも熱く、いまこの時、不撓不屈の魂を音楽に乗せて届ける二つの第九で、やがてくる歓喜の世界を謳い上げます。



© 城衛

ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団

National Philharmonic Society of UKRAINE KIEV

※「キエフ国立フィルハーモニー交響楽団」から名称を改めました。

1995年ウクライナのキーウに本拠を置く国立フィルハーモニー協会の専属オーケストラとして創設される。同国の巨匠ロマン・コフマンの指導下、1996年には若手の第一人者ミコラ・ジャージュラが音楽監督に就任、フィルハーモニーのライセンコ・ホールで年間50回以上の定期公演を行うほか、旧ソ連を含むヨーロッパ全土から客演に招かれている。特にドイツとフランスでは近年人気が高く、ベルリン、ミュンヘン、ケルンの各フィルハーモニー、バイロイトの大劇場等でチャイコフスキー、ラフマニノフ等を演奏するほか、数日間に渡ったロワールの音楽祭コンサートは、ハイビジョンでフランス全土に放映され大きな反響を呼んだ。ペンデレツキ、テオドラキス等の作曲家、クレメール、バシュメット、クライネフ、ヴィルサラーゼ、バドゥラ・スコダ、アッカルド等著名演奏家との共演も数多く、東欧における最も優れたオーケストラとして評価を確立している。



© 三浦興一

ミコラ・ジャージュラ (指揮)

Mycola Dyadura, Conductor

1961年キーウ生まれ。1980年からキーウのチャイコフスキー音楽院に学び、指揮法をロマン・コフマンに師事、在学中の86年から88年までロシアのオムスク・フィルハーモニー交響楽団の音楽監督を務める。1987年東京国際、88年ブダペスト国際各指揮コンクール受賞、小澤征爾からタンゲルウッドのサマーアカデミーに招かれ、バーンスタイン、プレヴィン等の指導を受ける。1988年シェフチェンコ記念キエフ国立歌劇場正指揮者、89年ソウル交響楽団首席指揮者を歴任、96年ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団音楽監督に就任。旧ソ連邦諸国を始め、ヨーロッパ、アメリカ、アジア等で幅広く演奏活動を行い、篤実な人格で多くの尊敬を集めている。

テチアナ・ガニーナ (ソプラノ)

Tetiana Ganina, Soprano

チャイコフスキー国立音楽院(キーウ)を卒業後、ウクライナ国立歌劇場のソリストを務める。ルイセンコ国際音楽コンクール準優勝、アゼルバイジャン国際声楽コンクール優勝、パビリバオ国際声楽コンクール第3位、パロツティ国際声楽コンクールディプロマ獲得他、優勝・入賞多数。これまでにドイツ、スイス、アメリカ、デンマーク、日本等でツアーを行っている。



アンジェリーナ・シュヴァチカ (アルト)

Anzhelina Shvachka, Alto

チャイコフスキー国立音楽院(キーウ)で声楽を学ぶ。アゼルバイジャン国際コンクール第3位、イワン・アルチェフスキー国際コンクール(ウクライナ)やクラウディア・タエフ国際コンクールで準優勝を果たしたほか、モントリオール・オペラフェスティバル、ベルリオーズ音楽祭に招聘され絶賛を博している。93年以来ウクライナ国立歌劇場のソリストを務めている。



ドミトロ・クズミン (テノール)

Dmytro Kuzmin, Tenor

2005年チャイコフスキー国立音楽院(キーウ)を卒業。ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団ほかウクライナの主要なオーケストラに客演するほか、イタリアオペラを中心に幅広くレパートリーを有しウクライナ国立歌劇場のソリストとして活躍している。これまでにドイツ、オーストリア、スイス、オランダ、デンマーク、ポーランド、日本、タイ、チェルノブイリ、ウズベキスタン等でツアーを行っている。ウクライナ名誉音楽家。



セルギイ・マゲラ (バス)

Sergii Magera, Bass

1997年リヴィウ州立音楽院を卒業。以来、リヴィウ歌劇場のソリストを務めるほか、98年よりウクライナ国立歌劇場のソリストを務める。ハンガリーでの国際声楽コンクール、マリア・カラス国際コンクール、ビルバオ国際声楽コンクール等で入賞を繰り返してキャリアを積みと共に、ドイツ、イタリア、スイス、フランス、オランダ、アメリカ等で演奏活動を行う。2016年にはイタリアの星勲章、17年にはウクライナのメリット勲章を授章。ウクライナ人民芸術家。



新アカデミー合唱団 New Academy Chorus

2016年1月、札幌アカデミー合唱団の解散により、同合唱団の組織・団員を母体として鎌倉亮太氏を正指揮者に迎え発足。同年6月、第69回コーラスフェスティバルにてデビュー。7月には「新アカデミー合唱団コンサート1」を開催。2023年5月に札幌コンサートホールkitara大ホールで「コンサート6」を開催した。2017年には北海道教育大学岩見沢校の学生・OB・OGによる3回のベートーヴェン「第9」、11月に東京の「俊友会」演奏会での同「第9」や札幌西区オーケストラ(指揮・鎌倉亮太)の「第9」にも出演している。その他、2019年7月にC.エッセンバッハ指揮(合唱指揮・鎌倉亮太)のPMFプレミアムコンサートでマーラー「千人の交響曲」に、同年9月には山下一史指揮、札幌交響楽団の信時潔「海道東征コンサート」に出演した。

上田 哲 (合唱指揮) Akira Ueda, Chorus Master

北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コース声楽科卒業。札幌放送合唱団常任指揮者。札幌100交響楽団、Ensemble-U、旭山コール・ハミング、コールひまわり、ララコスモス、円山グリーンハーモニー、エバークリーン、各指揮者。男声合唱団ススキノ副指揮者。コールアイオーン客演指揮者兼ボイストレーナー。「若者のための第九」代表。札幌音楽家協議会会員。指導者として、札幌を中心に現在10以上の合唱団、オーケストラ、プロジェクトを指導し、さらに活動の幅を広げている。NHK合唱コンクールなど各審査員も多く務める。これまで北海道を中心にオペラやコンサートに多く出演。

